令和8年度　基礎教育科目　カリキュラムツリー（樹形図）

科目名（ナンバリング）　単位数

		1年次【前期】	1年次【後期】	2年次【前期】	2年次【後期】
基礎教育科目	基本教育科目	日本語表現（KBE101）2		ホスピタリティ（HBE201）2	
				基礎英語（KBE201）1	応用英語（KBE202）1
		情報処理法（KBE103）1	情報分析法（KBE102）1		
					日本国憲法（KBE204）2
	実践教育科目	基礎演習Ⅰ（KPE101）1	基礎演習Ⅱ（EPE102）1		
					人間関係とコミュニケーション（KPE202）1
			手話（KPE104）1		
		文章表現（KPE103）1			
	地域貢献科目			ボランティア（KCC201）1	
		地域貢献Ⅰ（KCC101）1	地域貢献Ⅱ（KCC102）1	地域貢献Ⅲ（KCC203）1	地域貢献Ⅳ（KCC202）1
	総合教育科目			社会人基礎力講座(保)（KCES201）2	
	体育		健康理論(保)（KPE102）1	スポーツ実技(保)（KPE201）1	

ディプロマポリシー（到達目標）

DP1 問題発見力・課題解決力
常に広い視野を持ち、様々な情報の中から必要な情報を取捨選択しながら、柔軟な発想で問題を発見して解決へと導くことができる

DP2 実践力
健康な体を維持しながら、それを土台として常に物事を前向きに考え、責任を持って諦めずに最後まで行動することができる

DP3 コミュニケーション力
ルールやマナーを守り、自己の考えを正確に伝えながら他者の思いや考えを受け止め、価値観の多様性を理解して協働することができる

DP4 地域社会に貢献する力
向上心や責任感を持ちながら何事にも取り組むことで自己理解を図り、人間の生きる意味の尊さや奉仕の精神を育み、他者や地域社会の為に主体的に行動することができる

DP5 専門的知識・技術力
5-1
子どもの発達や心理など理解した上で、個別性や家族情報などを統合し、子ども一人ひとりを理解することができる。

5-2
保育に関する書類について、必要な情報を記載することに加え、読み手がどのように受け取るかなどを想定し、書類を作成することができる。

5-3
保育計画の立案において、子どもの実態や個別性を踏まえ、環境構成と援助の工夫を考えることができる。

5-4
子どもの実態や個別性に応じた保育を実践した上で、それらについて自身で評価・修正を行うことができる。

令和8年　専門科目カリキュラムツリー
保育科　カリキュラムツリー（樹形図）

科目名（ナンバリング）　単位数

専門教育科目

【保育の本質・目的に関する科目】
豊かな人間性をもった子どもを育成するという保育の理念を理解し、社会福祉、子ども家庭福祉等について総合的に学ぶ。また保育の理念、本質、役割および保育者の専門性について体系的に理解する。

- 保育原理（KCP101）2
- 教育原理（KCP103）2
- 保育者論（KCP107）2
- 子ども家庭支援論（KCP202）2
- 子育て支援（KCM204）1
- 社会福祉（KCP105）2 → 子ども家庭福祉（KCP102）2 → 社会的養護Ⅰ（KCP201）2 → 社会的養護Ⅱ（KCM202）1

【保育の対象の理解に関する科目】
子どもの健全な心身の発達を理解・支援するために必要な心理・保健・栄養につての基礎的な知識を理解する。また保育の対象である子どもの心理発達の特徴や仕組みを正しく理解し、それらを保育実践や子育て支援に活かすことができるようにする。

- 保育の心理学Ⅰ（KCU101）2 → 子ども理解と教育相談（KCU102）2 → 子ども家庭支援の心理学（KCU201）2 → 保育の心理学Ⅱ（KCU204）2
- 子どもの理解と援助（KCU104）1 → カウンセリング演習（KCM213）1
- 教育心理学（KCU105）2
- 子どもの保健（KCU106）2 → 子どもの健康と安全（KCM205）1 → 病児保育（KCU206）2
- 子どもの食と栄養（KCU202）2

【保育の内容・方法に関する科目】
子どもの発達と特徴を捉え、保育計画に関する基礎的な知識を理解する。また保育者として必要な専門的事項を学び、発達段階に応じた子どもの支援を養護的・教育的に考慮し、保育実践に活かすことができるようにする。

- 保育内容の理解と方法　6
  - 保育内容「健康」(KCM101)
  - 保育内容「言葉」(KCM103)
  - 保育内容「環境」(KCM102)
  - 保育内容「造形表現」(KCM105)
  - 保育内容「音楽表現」(KCM107)
- 保育内容演習　5
  - 健康領域指導法(KCM104)
  - 言葉領域指導法(KCM110)
  - 人間関係領域指導法(KCM106)
  - 環境領域指導法(KCM108)
  - 表現領域指導法(KCM112)
- 子どもの運動Ⅰ（KCM221）1 → 子どもの運動Ⅱ（KCM214）1
- 子どもの造形Ⅰ（KCM219）1 → 子どもの造形Ⅱ（KCM212）1
- 保育内容総論（KCM111）1
- 音楽基礎（KCM117）1
- 子どもの音楽Ⅰ（KCM119）1 → 子どもの音楽Ⅱ（KCM210）1 → 子どもの音楽Ⅲ（KCM217）1
- 子どもの音楽Ⅰ（KCM119）1 → 子どもの音楽Ⅱ（KCM210）1
- 保育の計画と評価（KCM109）2
- 保育方法論（KCM207）2
- 子どもの遊び演習（KCM208）1
- 情報技術と指導（KCM201）1
- 乳児保育Ⅰ（KCM114）2 → 乳児保育Ⅱ（KCM203）1
- 特別支援教育論（KCM115）2
- 保育実践演習（KCM211）2
- 地域の文化と表現（KCM223）2
- 総合表現（KCM209）2
- 教職実践演習(幼)（KCM206）2

【実習・総合演習に関する科目】
保育所その他児童福祉施設・幼稚園等の役割や機能を具体的に理解し、子どもの保育および保護者への支援について学び、保育者の役割や職業倫理等、実際の取り組みを通して修得する。

- 教育実習(教育実習指導)（KTP101）5
- 保育実習Ⅰ（KCT101）4 → 保育実習Ⅱ・Ⅲ（KCT201・203）2
- 保育実習指導Ⅰ（KCT103）2 → 保育実習指導Ⅱ・保育実習指導Ⅲ（KCT205・207）1

ディプロマポリシー（到達目標）

DP1 問題発見力・課題解決力
常に広い視野を持ち、様々な情報の中から必要な情報を取捨選択しながら、柔軟な発想で問題を発見して解決へと導くことができる

DP2 実践力
健康な体を維持しながら、それを土台として常に物事を前向きに考え、責任を持って諦めずに最後まで行動することができる

DP3 コミュニケーション力
ルールやマナーを守り、自己の考えを正確に伝えながら他者の思いや考えを受け止め、価値観の多様性を理解して協働することができる

DP4 地域社会に貢献する力
向上心や責任感を持ちながら何事にも取り組むことで自己理解を図り、人間の生きる意味の尊さや奉仕の精神を育み、他者や地域社会の為に主体的に行動することができる

DP5 専門的知識・技術力
5-1
子どもの発達や心理など理解した上で、個別性や家族情報などを統合し、子ども一人ひとりを理解することができる。

5-2
保育に関する書類について、必要な情報を記載することに加え、読み手がどのように受け取るかなどを想定し、書類を作成することができる。

5-3
保育計画の立案において、子どもの実態や個別性を踏まえ、環境構成と援助の工夫を考えることができる。

5-4
子どもの実態や個別性に応じた保育を実践した上で、それらについて自身で評価・修正を行うことができる。